

令和6年度《楽しむ読書活動から味わう読書活動へ「味読のすゝめ」》

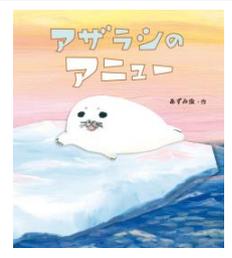
読書活動への扉を開く！

№. R6-8 桑村小学校 令和6年7月23日 文責：関口 直

夏休み課題図書 ブックトーク開催!!



- <低学年>
 - 「アザラシのアニュー」「ごめんねでてこい」
 - 「おちびさんじゃないよ」「どうやってできるの？ チョコレート」
- <中学年>
 - 「いつかの約束1945」「じゅげむの夏さようなら」
 - 「プラスチック・ストロー」「聞いて 聞いて！：音と耳のはなし」
- <高学年>
 - 「ぼくはうそをついた」「ドアのむこうの国へのパスポート」
 - 「図書館がくれた宝物」「海よ光れ！：3・11被災者を励ました学校新聞」



学校図書館司書の佐藤さんによる夏休み課題図書のブックトークが行われました。今年も読み応えのある本が勢揃いしました。子どもたちは佐藤学校司書のお話を聴きながら、佳境に入ったところで「続きは本を読んでのお楽しみ」と言われ、ため息とも感嘆ともとれる声をあげていました。課題図書でなくても、夏休みはじっくりと読書に取り組むことができる絶好の機会です。想像力を働かせる読書の世界と五感を働かせる体験活動の両輪で、大いに感性を磨いてほしいと思っています。また、今まで読んだことのある本を再読するのもいいかもしれません。そして、できれば今年度進めている「味読」まで読みが深められると、読書の世界が一気に広がっていきます。夏休みだからこそできる貴重な読書体験をするためにも町立図書館に行って、様々な蔵書に触れてほしいと思います。

「蝉のおべべ」 金子みすゞ

母さま、	蝉も暑くて	晩になったら
裏の木のかげに、	脱いだのよ、	さむかろに、
蝉のおべべが	脱いで、忘れて	どこへ届けて
ありました。	行ったのよ。	やりましょか。



実家に帰ると、玄関や窓に大量の蝉の抜け殻がありました。毎年の光景なのですが、今年も多くの子が旅立っていきました。何年間この庭の土の中で生活していたのだろうか？そんなことをふと思ひながら、今年の卵が成虫になるころには、世の中がどうなっているのだろうかと思ひてしまいました。そして、これから温暖化が進み、蝉がおべべを着たままだま再び地上に戻れない（成虫になれない）日がやってこないことを祈りたいと思います。